

平成29年度 事業報告

【公益目的事業】

公1	市民の健康福祉意識の醸成啓発事業、生きがいきづくり支援や社会参加の促進に関する事業及び仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	224,046,434円
		費用	226,029,402円
		人件費	125,585,274円
		物件費	100,444,128円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種講座の開催

広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するために講演会を実施した。また、高齢者や高齢期以前の市民に対して、生きがいきづくり支援や社会参加の促進を目的とした学習機会を提供した。

(1) 意識啓発講演会	年1回	シルバーセンター	自主事業	
			0	418,639

生きがい・健康づくりにつながる最新の活動や話題を取り上げたイベントを開催し、市民の健康づくりの取り組みを推進した。

①生きがい・健康づくりイベント

ア) 講演会

◆開催日：平成29年12月9日

◆テーマ：「生涯健康脳」～「健康脳」をつくるカギは健康生活の中にあり！～

いつまでも認知力を健全に保つために、日常生活の中で簡単にできる取り組みを紹介する講演会を開催した。

◆参加者：241人

イ) 講演会関連イベント

◆テーマ：いきいき健幸生活体験

講演会に関連し、事業団での実施事業を通じた脳機能の維持・改善に関する実践事例について紹介を行ったほか、講演会の内容にあわせたパンフレットを作成し、仙台市内公所等を中心に広く配布し、認知機能低下の予防に関する意識啓発を行った。(配布部数13,000部)※「いきいき健幸生活」…健康的で活動的(身体・認知・社会的活動)なライフスタイル

◆内容：運動「動いて脳活！」・栄養「食事で脳活！」・睡眠「快眠で健康脳！」・趣味「昔あそびで脳活！(折り紙・お手玉)」・知的好奇心「新たな学びで脳活！」・社会参加「コミュニケーションで脳活！せんだい豊齢学園」の取り組みを紹介するブースの設置や、「ひとりでもできるもの忘れチェック」「介護研修事業の紹介」等を行った。

◆参加者：延べ1,390人

(2) 学習機会の提供

ア	せんだい豊齢学園公開講座	年4回	シルバーセンター	自主事業	
				119,500	54,000

「豊齢化社会づくり」への理解と豊齢学園の一端を紹介するため、学習内容を一般市民に公開した。

①「郷土の年中行事」

◆開催日：平成29年12月11日

◆参加者：105人(一般55人、学園生50人)

②「仙台藩の商業」

◆開催日：平成29年12月11日

◆参加者：117人(一般68人、学園生49人)

	③「仙台の戦国時代」 ◆開催日：平成30年1月19日 ◆参加者：125人（一般69人、学園生56人） ④「仙台の食文化」 ◆開催日：平成30年2月9日 ◆参加者：96人（一般47人、学園生49人）			
イ	せんだい豊齢学園短期集中コース	年2期	シルバーセンター	自主事業
				151,000
2年制コースで開発した個々のテーマを、より専門性を持たせ、通年の学習機会には参加が難しい市民を対象に提供し、地域づくりや社会参加等の必要性の理解促進及び『豊齢化社会づくり』を担う人材育成を目的として、関係団体との連携により実施した。 ①第1期：日本の文化を考える ア)『山の暮らしに学ぶ』 イ)『仙台学のススメ』 ウ)『中国から見た日本の文化』 ◆開催日：平成29年8月7日・8日（全3回） ◆参加者：延べ224人 ②第2期：自分らしく生き生きと暮らすための講座 ア)『地域でいきいき暮らすために』 イ)『年を重ねながら楽しく暮らすために』 ウ)『人生を楽しみながらいきいき暮らすために』 ◆開催日：平成30年3月7日・14日（全3回） ◆参加者：延べ180人				
ウ	大人の未来学校	年5回	シルバーセンター等	自主事業
				104,500
生きがいや健康づくり、生活設計等を通し、現在の生活と高齢期のつながりについて考える機会を持てるよう、さまざまな角度からテーマを設け、講座を開催した。また、より多くの市民へ意識啓発を行うため、事業団発行の情報誌「杜人」において講座実施内容の紹介を行った。 ①今から考えるライフプラン～これからの暮らしとお金～ ◆開催日：平成29年5月20日 ◆参加者：45人 ②色彩心理学を学ぼう～”色”で変わるあなたのイメージ～ ◆開催日：平成29年7月8日 ◆参加者：40人 ③今、大ブーム！落語と寄席の楽しみ方 ◆開催日：平成29年10月14日 ◆参加者：28人 ④アンガーマネジメント～怒りの感情との上手なつきあい方～ ◆開催日：平成29年12月2日 ◆参加者：35人 ⑤文章のプロに学ぶ！大人のための文章講座～”伝わる・読まれる”文章を書こう～ ◆開催日：平成30年2月3日 ◆参加者：61人				

2 高齢者ボランティア等の人材養成

高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を社会に還元し、自身の生きがいづくりに加えて、地域社会づくりの重要な担い手となるよう、高齢者ボランティア等の人材を養成した。

(1) せんだい豊齢学園事業	通年	シルバーセンター	自主事業
			5,628,472
高齢者向けに社会貢献に資する学習と相互交流の場を提供し、健康・生きがいづくりを支援しながら、豊齢化社会推進を担う人材の養成を図るため、2年制コースの「せんだい豊齢学園」を開設・運営した。 ◆期間：平成29年4月28日～平成30年3月5日（月・金曜日） ◆会場：仙台市シルバーセンター等			

- ◆受講生：総合生活コース1年 58人
総合生活コース2年 49人
ふるさと文化コース1年 57人
ふるさと文化コース2年 57人
- ◆学習時間：年間99時間程度。普通講座のほか公開講座、館外学習等を実施した。
- ◆学習内容：①せんだい豊齢学園
 - ア) 総合生活コース
現代社会の仕組みや現代文化への理解を深め、健康づくりや生きがいづくり活動を通して、仲間づくりや地域づくりのための知識や実践力を身につけ、地域における介護予防や生きがい支援等の社会貢献活動を担う人材を育成した。
【テーマ】健康、介護予防実践、保健、現代社会、文学・言語表現、社会貢献 他
 - イ) ふるさと文化コース
身近なふるさとの歴史や文化についての学習を通して、地域文化の伝承活動や地域交流活動ができる実践力を身につけ、積極的な社会貢献活動を担う人材を育成した。
【テーマ】郷土の歴史、郷土と文学、文化・民俗、文化財・芸術、社会貢献 他
- ②せんだい豊齢学園人材育成講演会「健康でいるために 穏やかに過ごすために」
学園の夏休み期間を利用して、学園生向けに社会参加活動につなげるために必要な健康づくりやコミュニケーションを学ぶ講演会を実施した。
【開催日】平成29年7月26日 【参加者】115人
- ③豊齢学園・豊齢ネットワーク交流イベント
豊齢学園修了後の活動につなげる動機づけとするため、豊齢ネットワーク主催イベントへの参加を通じて会員をはじめとした多くの方々との交流を行った。
【開催日】平成29年11月10日
- ◆学園説明会の実施：応募を検討している市民に対して学園の概要等の説明会を実施した。
(2回、延べ135人参加)
- ◆アンケートの実施：学園修了生を対象に、修了後の社会参加等の活動状況等についてアンケートを実施し、平成30年度からのコース再編に向けての基礎資料とした。

(2) シニア学び合い講座	通年	シルバーセンター	自主事業	
			618,000	1,087,887

高齢者がさまざまな活動を通して蓄積した知識や技能を公開・伝承することで、より多くの高齢者の社会参加を啓発・支援することを目的とした講座を開催した。また、ICT（情報通信技術）の利活用を通じた高齢者の活発な社会参画・地域貢献を推進するため、スマートフォン等の使い方講座を開催するとともに、講座修了生を講座運営のサポーターとして養成・活用することで、学び合い実現と世代間交流を図った。

- ①七夕飾り作成ボランティア体験
 - ◆開催日：平成29年8月18日・25日・29日、9月1日
 - ◆参加者：延べ37人
- ②シニアのためのスマホ講習会「スマホサロン@仙台」
 - ア) 一般市民向け講座
 - ◆実施回数：24回（全2回コース×12講座）
 - ◆参加者：延べ383人
 - ◆運営サポーター：延べ96人
 - イ) サポーター養成講座
 - ◆実施回数：2回
 - ◆参加者：延べ14人
 - ウ) スマホ体験相談会
 - ◆実施回数：2回
 - ◆参加者：延べ80人
 - ◆運営サポーター：延べ18人
- ③シニアのための地域活動実践講座
「今からはじめる社会参加・地域活動のすすめ」
～誰もが音楽家♪スマホ・タブレットで奏でよう、地域・人とつながろう～
 - ◆開催日：平成30年2月5日・13日・19日・26日
 - ◆参加者：延べ61人

3 ボランティア団体等の支援

高齢者のボランティア活動の継続・活性化を図り、地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するために、高齢者が主体となり活動を行っているグループを支援するとともに、地域高齢者を対象に活動を行っているボランティア団体を支援した。

(1) せんだい豊齢ネットワーク支援	通年	シルバーセンター等	自主事業	
			204,185	932,487
<p>シニア活動団体のネットワーク組織である豊齢ネットの運営・活動について各種支援を行った。</p> <p>①交流サロン運営 ◆開室日数：192日</p> <p>②活動拠点の利用 ア) ふれあいコーナー ◆利用日数：250日 ◆利用者：9,755人 イ) 活動コーナー ◆利用日数：174日 ◆利用者：2,219人</p> <p>③会議・交流会の開催 ◆代表者会議：3回 ◆推進会議：12回 ◆ふれあい広場実行委員会：10回 ◆豊齢ネットまつり実行委員会：4回 ◆文化事業実行委員会：6回 ◆仙台フィルハーモニー管弦楽団協働コンサート実行委員会：4回</p> <p>④ネットワーク全体活動 ア) ふれあい広場の開催 ◆実施回数：9回 ◆参加団体：豊齢ネット加入団体 11団体 ◆来場者：延べ3,844人 イ) 豊齢ネット・仙台フィルハーモニー管弦楽団協働コンサート「午後のひととき クラシックはいかが」 ◆開催日：平成29年8月21日 ◆入場者：279人 ウ) 仙台市高齢者生きがい健康祭交流広場 ◆開催日：平成29年9月23日 ◆会場：勾当台公園市民広場 ◆参加団体：豊齢ネット加入団体 4団体 エ) 文化事業「東日本大震災復興支援チャリティコンサート」 ◆開催日：平成29年10月27日 ◆来場者：158人 オ) せんだい豊齢ネットまつりの開催 ◆開催日：平成29年11月10日 ◆参加団体：豊齢ネット加入団体 22団体 ◆来場者：延べ1,452人 カ) 地域活動ボランティア ・昔あそび（5月・歴史民俗資料館） ・シルバー創作展 創作体験コーナー及び受付ボランティア（7月・シルバーセンター） ・七夕飾り作成ボランティア体験指導（8～9月・シルバーセンター） ・仙台市高齢者生きがい健康祭交流広場案内チラシ配付（9月・勾当台公園市民広場） ・介護予防月間オープニングイベント運営ボランティア（11月・シルバーセンター） ・いきいき健幸生活体験 イベント運営ボランティア12月・シルバーセンター） ・シルバー創作展示会受付ボランティア（1月・東北電力ホール）</p>				
(2) 仙台市ボランティア団体等先導的 事業助成（ふれあいデイホーム） 説明受付審査等業務	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			56,000	33,610
<p>主に介護保険の要介護認定を受けていない高齢者を対象に介護予防等の活動を行うボランティア団体（13団体）に対して、助成申請書類等の説明・受付・審査及び研修会の開催等を実施した。</p>				

- ①助成交付申請書・実施報告書等の説明・受付・審査
- ②助成ボランティア団体の活動状況確認及び指導のための訪問調査
- ③研修会の開催
 - ア) I 防犯講座「特殊詐欺(オレオレ詐欺等)の手口と対応策 安全な地域の暮らしの守り方」
 - II おらほのサロン見てけさいん～活動紹介マップの制作
 - ◆開催日：平成29年7月5日
 - ◆参加者：32人(11団体)
 - イ) I 「いきいき健幸生活～休養の上手な取り方と脳と心の健康づくり」
 - II 「平成30年度助成金交付申請書について」
 - ◆開催日：平成30年2月14日
 - ◆参加者：30人(12団体)
- ④仙台市ボランティア団体等先導的事業助成審査会のための準備業務

4 高齢者等の総合相談

多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、生活全般や専門的な問題に関する相談に応じた。

(1) 高齢者に関する一般相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
◆相談日：308日 ◆利用者：792人(対前年度 47人増)				
(2) 専門相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
①税務相談 ◆相談日：12日 ◆利用者：19人(対前年度 1人増) ②年金相談 ◆相談日：12日 ◆利用者：9人(対前年度 5人減) ③法律相談 ◆相談日：48日 ◆利用者：92人(対前年度 16人増)				

※「8 仙台市シルバーセンターの管理運営」との共通予算

5 活動の発表の機会の提供

高齢者の生きがいがづくり支援の一環として、創作活動などの趣味やスポーツ活動の継続支援、活動意欲喚起のために発表機会を提供した。

(1) シルバー創作展	年2回	シルバーセンター等	自主事業	
			158,000	1,460,830
高齢者に芸術創作活動の発表の機会を提供することにより、高齢者の生きがいがづくりを支援するとともに、市民各層の高齢者に対する理解を深めることを目的として、作品展示会を開催した。併せて、1階アトリウムにて、「創作体験コーナー」と壁面飾り「メッセージの星空」を実施し、子供から高齢者まで気軽に楽しめる創作体験と世代間交流の場を提供した。また、シルバーセンター以外の施設を会場として、豊齢ネットワーク加入サークル「フラワーB' Z手芸」が開催した作品展示会に上位入賞作品を出品し、高齢者による芸術創作活動支援の周知を図った。				
①第26回シルバー創作展 ◆展示期間：平成29年7月22日～27日(6日間) ◆部門：洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸 ◆出品数：321点(うち招待作家作品5点) ◆来場者：延べ3,004人				

②シルバー創作展示会 ◆展示期間：平成30年1月16日～21日（6日間） ◆会場：東北電力グリーンプラザ プラザギャラリー-NORTH ◆出品数：50点（うち第26回シルバー創作展上位入賞作品26点） ◆来場者：延べ1,520人 ◆主催：フラワーB' Z手芸				
(2) 全国健康福祉祭 仙台市参加者等派遣業務	年1回	秋田県（開催地）	受託事業	
			4,668,595	4,668,595
高齢者の生きがい創造や社会参加、世代間交流を通じ、高齢者の自立や魅力ある長寿社会づくりの契機とすべく、厚生労働省、一般財団法人長寿社会開発センター及び開催自治体である秋田県の共催により開催された「第30回全国健康福祉祭あきた大会」に仙台市選手団を派遣した。 ◆大会期間：平成29年9月9日～12日 ◆派遣種目：卓球等20種目 ◆派遣人員：144人（役員9人含む）				

6 普及啓発イベントの開催

高齢者の生きがい・健康づくりや介護予防の必要性を普及啓発するイベントを開催し、参加者自身の生きがい・健康づくりを支援するとともに、新たな活動の契機を提供した。

(1) 仙台市高齢者生きがい健康祭	9月～11月	勾当台公園市民広場等	自主事業（共催事業）	
			※	※
活力ある高齢社会を目指し、日頃から積極的に活動している高齢者や団体を広く市民にアピールするとともに、スポーツや文化活動を通じて交流を図り、健康づくりや社会参加の機会を提供し、生きがいのある高齢社会の実現を目的とするイベントを仙台市・仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会・当事業団の3者共催により開催した。また、市民広場交流事業では、「介護予防月間」のPRイベントとして、介護予防関連の企画も実施した。 ①市民広場交流事業 ◆開催日：平成29年9月23日 ◆会場：勾当台公園市民広場 ◆来場者：延べ10,000人 ②競技種目交流大会 ◆期間：平成29年9月2日～11月25日 ◆会場：仙台市内体育館等 ◆競技数：17種目 ◆参加者：2,108人				
(2) 介護予防月間実施業務	11月	シルバーセンター	受託事業	
			595,943	595,943
仙台市では、11月を介護予防月間と定め、市民に向けた介護予防の普及啓発活動を行っている。普及啓発の一層の推進を図るため、各関係機関や地域団体等と協働・連携し、講演会や体験イベント等を開催した。 ○元気力アップフェスティバル ◆開催日：平成29年11月5日 ◆内容：講演「健幸長寿をかなえよう～お口からはじめる健康づくり～」 「音楽で癒しのひとときを～Sonido del Vientoミニライブ」 講座「膝痛・腰痛予防！健康いきいき運動教室」「理学療法士による介護予防・フレイル予防運動教室」「健康マージャン入門講座」「親子で和菓子づくり体験」 相談・測定・展示コーナー（健康相談、歯・口の健康相談、栄養相談、もの忘れ相談等）、 体験コーナー（スマートフォン体験講座、アロマクラフトづくり体験）、軽食・惣菜等の販売 関係団体事業紹介コーナー ◆来場者：延べ1,856人				

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、仙台市から実行委員会へ交付される負担金にて開催した。

7 情報誌の発行

高齢者を中心とした広く市民に対して、健康福祉に関する意識啓発を図った。また、各種事業の参加者募集やシルバーセンターの紹介を行った。

(1) 健康福祉情報誌 「げんき倶楽部 杜人」の発行	年6回	仙台市内外各所で配布	自主事業	
			0	30,240
広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及啓発するために、関連テーマを取り上げた情報誌を発行し、豊齢化社会の実現に向けた情報の発信を行った。 ◆発行日：隔月末日 ◆発行部数：420,000部（A4冊子版70,000部×6回）				
(2) シルバーセンターだより 「あばいん」の発行	年12回	仙台市内公共施設等で配布	指定管理事業	
			680,038	680,038
広く市民にシルバーセンターを周知するため、シルバーセンターだより「あばいん」を発行した。 ◆発行日：毎月1日 ◆発行部数：42,000部（A3判二つ折り3,500部×12回）				

8 仙台市シルバーセンターの管理運営

福祉団体等の活動活性化を図るための研修室等の貸出、高齢者等の健康保持増進を図るための温水プール等の提供、シルバーセンターの維持管理を行った。

(1) ホール・研修室等の貸出 温水プール等の利用提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業																									
			85,453,181	84,819,376																								
①ホール・研修室等の貸出 ◆貸出日数：交流ホール 258 日、研修室・和室・会議室 341 日 ※大規模修繕工事のため交流ホール 83 日間休館 ◆対象：福祉団体及び福祉目的の催事 ◆利用状況： <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用件数（対前年度）</th> <th>利用人数（対前年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流ホール</td> <td>63 件（ 3 件減）</td> <td>6,113 人（ 90 人増）</td> </tr> <tr> <td>第1研修室</td> <td>304 件（ 7 件増）</td> <td>17,661 人（1,165 人増）</td> </tr> <tr> <td>第2研修室</td> <td>244 件（ 24 件減）</td> <td>10,113 人（1,287 人減）</td> </tr> <tr> <td>第3研修室</td> <td>267 件（ 29 件減）</td> <td>2,489 人（ 324 人減）</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>196 件（ 20 件増）</td> <td>1,671 人（ 185 人増）</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>293 件（ 90 件増）</td> <td>2,945 人（1,187 人増）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,367 件（ 61 件増）</td> <td>40,992 人（1,016 人増）</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	利用件数（対前年度）	利用人数（対前年度）	交流ホール	63 件（ 3 件減）	6,113 人（ 90 人増）	第1研修室	304 件（ 7 件増）	17,661 人（1,165 人増）	第2研修室	244 件（ 24 件減）	10,113 人（1,287 人減）	第3研修室	267 件（ 29 件減）	2,489 人（ 324 人減）	和室	196 件（ 20 件増）	1,671 人（ 185 人増）	会議室	293 件（ 90 件増）	2,945 人（1,187 人増）	合計	1,367 件（ 61 件増）	40,992 人（1,016 人増）
施設名	利用件数（対前年度）	利用人数（対前年度）																										
交流ホール	63 件（ 3 件減）	6,113 人（ 90 人増）																										
第1研修室	304 件（ 7 件増）	17,661 人（1,165 人増）																										
第2研修室	244 件（ 24 件減）	10,113 人（1,287 人減）																										
第3研修室	267 件（ 29 件減）	2,489 人（ 324 人減）																										
和室	196 件（ 20 件増）	1,671 人（ 185 人増）																										
会議室	293 件（ 90 件増）	2,945 人（1,187 人増）																										
合計	1,367 件（ 61 件増）	40,992 人（1,016 人増）																										
②温水プール・浴室・サウナの利用提供 ◆貸出日数：330日 ◆対象：60歳以上の高齢者及び障害者 ◆利用者：43,834人（対前年度 574人増）																												
(2) センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業																									
			※	※																								
①日常管理のための業務委託 警備、清掃、温水プール監視等の常駐業務の管理を行った。 ②設備の保守点検等の業務委託 空調設備、エレベーター設備、プール設備等の保守管理、交流ホール舞台設備等の保守管理を行った。 ③事務機器等の賃貸借管理 ④施設整備 プールろ過装置自動弁更新や冷温水発生機等の修繕、非常用自家発電装置の実負荷試験、照明器具のLED化を行った。 ⑤大規模修繕管理（仙台市予算） 交流ホール舞台照明設備の更新を行い、センターを良好な状態に維持管理した。 また、シルバーセンター入口付近敷地の環境整備を行った。																												

※「(1)ホール・研修室等の貸出、温水プール等の利用提供」との共通予算

公 2	市民の健康づくり支援に関する事業及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	224,920,540円
		費用	226,207,082円
		人件費	131,448,435円
		物件費	94,758,647円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種教室の開催

生活習慣病や肥満の原因となる運動不足や不規則な食生活、要介護状態につながる運動機能の低下を予防・改善することを目的として、各種教室を開催した。

(1) 生活習慣病予防・改善講座	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			709,467	709,467
<p>生活習慣病予防・改善を広く市民に啓発するため事業を実施した。また、生活の QOL に大きく影響を及ぼす可能性のあるロコモティブシンドローム予防を目的に運動教室を実施した。</p> <p>①ヘルスプロモーション啓発セミナー</p> <p>ア) 講演「食から始めるいきいき脳～認知症予防と栄養～」</p> <p>◆実施日：平成29年9月3日</p> <p>◆参加者：79人</p> <p>イ) 講演「女性のからだところろ」</p> <p>◆実施日：平成29年11月11日</p> <p>◆参加者：61人</p> <p>ウ) 講演「眠りがつくるココロとカラダ」</p> <p>◆実施日：平成30年3月18日</p> <p>◆参加者：131人</p> <p>②ごはん de 健康セミナー</p> <p>ア) 「ごはん de 健康セミナー～腸内環境もカギ！カラダの中からプチ不調を改善～」</p> <p>◆実施日：平成29年5月26日・27日</p> <p>◆参加者：30人</p> <p>イ) 「ごはん de 健康セミナー～ロコモ予防！筋肉UPには食事も大事！～」</p> <p>◆実施日：平成29年6月30日・7月1日</p> <p>◆参加者：30人</p> <p>ウ) 「ごはん de 健康セミナー～血糖値が気になる方へ～」</p> <p>◆実施日：平成29年10月27日・28日</p> <p>◆参加者：19人</p> <p>エ) 「ごはん de 健康セミナー～気になるコレステロール食事でのポイント～」</p> <p>◆実施日：平成29年12月16日</p> <p>◆参加者：19人</p> <p>オ) 「ごはん de 健康セミナー～おいしく食べて肥満予防～」</p> <p>◆実施日：平成30年3月2日・3日</p> <p>◆参加者：34人</p> <p>③ロコモティブシンドローム予防教室</p> <p>◆実施日：平成29年9月9日・16日</p> <p>◆参加者：延べ34人</p>				

(2) 障害者健康づくり教室	通年	地下鉄沿線施設等	指定管理事業	
			665,393	665,393
<p>①地域拠点教室（個人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：16歳以上の障害者で運動習慣のない方 ◆実施回数：108回（会場：仙台市体育館、シルバーセンター、健康増進センター） ◆参加者：延べ710人 <p>②地域拠点教室（夕暮れエクササイズ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：若年者軽度知的障害者 ◆実施回数：41回（会場：健康増進センター） ◆参加者：延べ661人 <p>③地域拠点教室（夕暮れエクササイズ 春の特別編）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：若年者軽度知的障害者 ◆実施回数：4回（会場：健康増進センター） ◆参加者：延べ45人 <p>④地域拠点教室（呼吸らくらくレクリエーションサークル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：16歳以上で運動可能な呼吸器の病気をお持ちで、これから継続して活動をしていきたい方 在宅酸素療法を利用している方 日常的に息切れや息苦しさがある方 ◆実施回数：28回（会場：健康増進センター） ◆参加者：延べ48人 <p>⑤地域拠点教室（団体・グループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：障害者施設・団体・グループ ◆実施回数：71回 ◆参加者：延べ868人（支援者、職員含む） <p>⑥施設支援教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：支援学校（生徒・教職員） ◆実施回数：15回 ◆参加者：延べ180人（教職員含む） <p>⑦調査・研究・開発</p> <p>各区ネットワーク会議において地域情報の収集を行い、ネットワークの構築を図った。また、障害特性を考慮した運動プログラムや体力測定法、ツールの開発等を行った。</p> <p>ア) 障害者の健康づくりに係る地域資源の調査・分析</p> <p>イ) 障害者の健康づくり援助法開発に係る事例収集フォームの作成と事例入力</p>				
<p>(3) 高齢者運動教室</p> <p>健康づくりや介護予防の啓発等を目的として、元気高齢者、後期高齢者、虚弱高齢者等を対象に、高齢者運動教室を開催した。また、修了後は地域の自主サークルとのネットワークを活用し、運動の継続を支援した。</p>				
ア 高齢者運動教室	通年	シルバーセンター等	自主事業	
			7,885,020	8,244,972
<p>①シニア元気あっぷ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：満65歳以上の市民 ◆実施回数：350回（8回×10コース×1期、9回×10コース×3期） ◆参加者：延べ9,660人 <p>②はつらつ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：満80歳以上の市民 ◆実施回数：128回（8回×4コース×4期） ◆参加者：延べ2,091人 <p>③きらら元気運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：おおむね60歳以上の市民 ◆実施回数：20回 ◆参加者：延べ743人 				

- ④きらら元気運動教室ライト
 - ◆対 象：おおむね60歳以上の方
 - ◆実施回数：11回
 - ◆参 加 者：214人
- ⑤いきいき脳活健幸モデル教室（会場：健康増進センター）
 - ◆対 象：認知機能の低下予防に興味がある満65歳以上の市民
 - ◆実施回数：18回
 - ◆参 加 者：延べ518人
- ⑥いきいき脳活健幸教室
 - ◆対 象：認知機能の低下予防に興味がある満65歳以上の市民
 - ◆実施回数：16回（8回×1コース×2期）
 - ◆参 加 者：延べ316人
- ⑦サロン活動（クリスマス会）
 - ◆実 施 日：平成29年12月20日
 - ◆対 象：高齢者運動教室参加者
 - ◆参 加 者：38人（支援者含む）
- ⑧高齢者運動教室公開講座（脳の健康づくりイベント）
 - ◆実 施 日：平成29年12月9日
 - ◆内 容：生涯健康脳
 - ◆対 象：一般市民
 - ◆参 加 者：241人（再掲）

イ	高齢者運動教室	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				2,034,449	2,034,449
①いずみシニア元気あっぷ運動教室 <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆実施回数：64回（8回×2コース×4期） ◆参 加 者：延べ1,778人 					
②シニアステップアップ運動教室 <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：概ね60歳以上の運動可能な方 ◆実施回数：132回 ◆参 加 者：延べ3,766人 					
③いずみいきいき脳活健幸教室 <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：認知機能の低下予防に興味がある満65歳以上の市民 ◆実施回数：16回（8回×1コース×2期） ◆参 加 者：延べ265人 					
④いずみはつらつ運動教室 <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆実施回数：32回（8回×1コース×4期） ◆参 加 者：延べ544人 					
⑤いずみ楽しくワンアップ <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆実施回数：16回（8回×1コース×2期） ◆参 加 者：延べ284人 					

2 運動支援者・指導者の人材養成

障害者の健康増進、高齢者の介護予防を支援するために必要な運動に関する知識・技術・実践力の習得、支援者・指導者の養成を目的とした研修会を開催した。

(1) 障害者運動サポーター養成研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			69,270	69,270
①サポーター活用 ◆内 容：障害者健康づくり運動教室 ◆対 象：障害者運動サポーター ◆実施回数：102回 ◆参加者：延べ153人				
(2) 介護予防自主グループ支援事業 (介護予防運動サポーター養成研修会)	通年	区役所等	受託事業	
			773,932	773,932
地域の介護予防を支援する介護予防自主グループサポーターの養成研修及び活動支援を行った。 ①新規サポーター養成研修（追加サポーター養成と合同） ◆実施回数：57回（5区及び1支所） ◆参加者：延べ1,075人 ②追加サポーター養成研修 ◆実施回数：5回（5区及び2支所） ◆参加者：延べ713人 ③スキルアップ研修 ◆実施回数：29回（5区及び2支所） ◆参加者：延べ1,038人 ④合同スキルアップ研修 ◆実施回数：2回 ◆参加者：63人 ⑤「杜の都のおトク体操」の普及啓発（CD配布・資料配布） ◆件 数：介護予防自主グループCD配布13件 ⑥「キューッと体操」の普及啓発（リーフレット作成、配布） ◆配布先：地域包括支援センター、介護予防自主グループ、地域高齢者 ◆配布部数：207部				
(3) 健康づくり運動サポーター養成 研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
健康づくり運動サポーター自主グループ“ウェルネスホープ”を対象に、研修と支援を行った。 ①サポーター活用 ◆内 容：高齢者運動教室、いず☆ちゅう健幸祭、施設利用事業等 ◆実施回数：229回 ◆参加者：延べ381人 ②自主活動支援 ◆内 容：講師派遣、スキルアップ研修等 ◆実施回数：39回 ◆参加者：延べ354人				
(4) 介護予防支援者研修会	年2回	シルバーセンター等	自主事業	
			28,000	※2
地域で介護予防の支援を行っている方を対象に、介護予防に関する運動実践のための知識や技術の習得を目的とした研修会を開催した。 ◆実 施 日：平成29年9月6日、9月28日 ◆内 容：杜の都のおトク体操、元気サポーター ◆対 象：介護予防の運動支援者 ◆参加者：延べ78人				

(5) 指導者研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
①健康づくり指導者研修会 ◆実施期間：平成29年4月～平成30年3月 ◆対象：地域関係機関職員、地域運動サポーター、民生委員、運動指導員等 ◆実施回数：12回 ◆参加者：743人 ②学生実習 ◆実施時期：平成29年8月・9月・11月 ◆対象：宮城大学公衆衛生看護学実習、仙台市台原中学校職場体験、仙台医健専門学校、仙台市向陽台中学校職場体験、東北大学医学部公衆衛生学分野 ◆実施回数：17回 ◆参加者：延べ53人 ③豊齢学園栄養講話 ◆実施日：平成29年9月29日 ◆内容：元気に過ごすための食生活についての講話、食塩含有紙による塩分感じ方体験 ◆参加者：49人				

※1 「(1) 障害者運動サポーター養成研修会」との共通予算

※2 「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

3 健康づくりに関する相談・支援

生活習慣病の発症リスクが高い人や障害者、高齢者が主体的に継続して健康づくりに取り組むことができるように、生活習慣や運動に関する相談・支援を行った。

(1) 障害者健康づくり支援事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
障害者健康づくり教室修了者等を対象に、必要に応じたフォローアップや継続支援（施設支援・個別支援）を行った。 ◆対象：障害者施設2ヶ所 ◆実施回数：3回 ◆参加者：延べ136人（職員含む）				
(2) 運動自主グループ活動支援事業	通年	市民センター等	自主事業	
			0	※2
地域の社会資源である運動自主グループの活動継続を支援し、地域の介護予防に寄与した。 ◆対象：21グループ（会員620人） ◆内容等：巡回支援 2グループ 2回 運動指導・健康講話 1グループ（14人参加） 会員募集ホームページ掲載 11グループ 情報提供（おトク通信） 4回				
(3) 介護予防プログラム強化事業	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			230,000	230,000
今年度から開始した新しい総合事業のなかでも仙台市が民間事業者へ委託実施する通所型短期集中予防サービス（元気応援教室）における機能向上プログラムについて、通所型短期集中予防サービス事業所を訪問し、質の確保及び向上を図るとともに、通所型短期集中予防サービス向け情報交換会を通して共通プログラムの目的や活用方法についての説明を行った。 また、介護予防自主グループ支援事業の10年経過に併せて報告書を作成した。 ①事業打合せ ◆実施回数：4回 ②通所型短期集中予防サービス向け情報交換会 ◆実施回数：1回				

③通所型短期集中予防サービス事業所の訪問 ◆実施回数：12回 ④介護予防自主グループ支援事業10年の経過に関する報告書作成			
(4) 健康づくり支援プラン事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業
			4,762,810 4,762,810
<p>健康度測定（4コース）を実施するとともに、その結果に基づいた健康づくり支援プランの作成や継続的な健康づくりの支援及び事後評価を行った。また、支援プラン作成者を対象に、健康づくりの継続支援を目的とした講座を実施した。</p> <p>①健康づくり支援プラン作成 ◆実施日数：90日 ◆利用者：総合コース 58人（障害者11人、高齢者 5人、一般42人） 簡易コース 95人（障害者51人、高齢者11人、一般33人） 身体活動コース 145人（障害者77人、高齢者48人、一般20人） 食生活コース 2人（高齢者 2人）</p> <p>②支援プラントレーニング ◆内 容：支援プラン作成者を対象とした保健・栄養指導、運動実技、ヘルスチェック等の継続支援 ◆実施日数：140日 ◆利用者：延べ5,539人（障害者4,091人、高齢者1,033人、一般415人）</p> <p>③生活習慣病重症化・合併症予防事業 循環器疾患の危険因子である高血圧を予防・改善するための減塩プログラム事業を実施した。</p> <p>ア) 今日からできる減る塩チャレンジ ◆実施日：平成30年3月24日 ◆参加者：12人</p> <p>イ) お手軽とる塩チェック ◆実施日：平成29年5月31日、7月15日、9月20日、11月18日、平成30年1月17日、3月17日 ◆参加者：78人</p> <p>④健康相談 ◆内 容：医師による健康相談 ◆実施回数：20回 ◆参加者：4人</p> <p>⑤調査・研究・開発 健康づくり支援プラン事業において実施する生活習慣病重症化・合併症予防を目的とした生活改善プログラムについて、支援方法及びツールの開発を行った。</p>			

※1 「1(2) 障害者健康づくり教室」との共通予算

※2 「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

4 活動の発表の機会の提供

日頃の健康づくりや介護予防に関する活動の継続支援、活動意欲の喚起を図ることを目的に、発表機会の提供を行った。また、世代間交流を通じて介護予防への理解を広げた。

(1) はつらつ健康フェスティバル	11月	仙台市体育館	自主事業
			192,000 283,602
<p>生きがい健康づくりの一環として、地域の市民センターや体育館で各種ダンス等の活動を行っているグループに対し発表の場を提供した。また、世代間交流と若い世代へ向けての介護予防の理解・啓発を目的として参加発表の場を提供した。</p> <p>◆実施日：平成29年11月4日 ◆対象：仙台市内を拠点とするグループ ◆参加者：902人 ◆発表者：29グループ・618人（15演技） ◆特別出演団体：3グループ・62人</p>			

5 地域展開・普及啓発

地域や企業、障害者団体等の依頼に応じた職員派遣、教室開催等を通じて、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康増進、高齢者の介護予防の重要性の普及啓発等を行った。

(1) 出前講座				
ア	出前講座 (生活習慣病予防・改善)	通年	仙台市内	指定管理事業
				※1
<p>①健康づくり応援事業 調査・研究等で把握した健康課題について、地域にて啓発を行った。また、健康づくりツールとして、ウォーキングマップの制作を行った。</p> <p>ア) 子育て世代の母親向けの食生活に関する啓発 ◆実施日：平成29年7月11日、9月12日 ◆内容：栄養バランスや野菜の摂り方等の栄養講話 ◆参加者：6人</p> <p>イ) ウォーキングマップの制作 ◆コース：定禅寺通り～西公園周辺コース 定禅寺通り～宮町～北四番丁周辺コース</p> <p>②健康啓発事業 健康づくりの啓発・支援を目的に職員派遣を行った。 ◆対象：市民及び職域 ◆実施回数：15回 ◆利用者：1,304人</p>				
イ	出前講座 (障害者の健康増進)	通年	仙台市内	指定管理事業
				※2
<p>①障害者団体出前講座 障害者の健康づくりを啓発・支援することを目的に職員派遣を行った。 ◆対象：障害者、施設職員、障害者を支援する方等 ◆実施回数：12回 ◆参加者：355人（当事者307人、職員48人）</p> <p>②連携事業 ア) いず☆ちゅう健幸祭 障害者総合支援センター及び発達相談支援センターと連携したイベントを開催した。 ◆実施日：平成29年11月11日 ◆内容：講演会、健康づくり教室体験、各種測定体験、福祉用具展示、スタンプラリー等 ◆参加者：1,811人</p> <p>イ) 呼吸健康教室 障害者総合支援センターとの事業連携を行った。 ◆実施日：平成29年10月18日 ◆対象：呼吸器疾患患者 ◆参加者：18人</p> <p>ウ) その他連携事業 ・精神保健総合支援センターとの連携事業：4回、参加者33人（当事者25人、支援者・職員8人） ・メンタルヘルスネットワーク in 仙台との連携事業：1回、スポーツフェスティバル参加者47人 ・日本呼吸ケアリハビリテーション学会学術集会市民公開講座：1回、参加者140人</p> <p>③ネットワーク構築 障害者を地域で支援する関係機関とのネットワーク会議に参加し、情報交換や連携を進めた。 ◆参加回数67回</p>				
ウ	出前講座 (高齢者の介護予防)	通年	仙台市内	自主事業
				287,000
<p>①出前講座 介護予防の地域づくり支援を目的に職員派遣を行った。 ◆対象：町内会、市民センター（老壮大学）等</p>				

<ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：15回 ◆参加者：536人 <p>②市営住宅介護予防運動教室事業 地域における新たな健康づくり・介護予防の創設を目的として、公営住宅の集会所等を活用した介護予防運動教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：北六番丁市営住宅住民 ◆実施回数：7回 ◆参加者：延べ71人 <p>③地域介護予防活動支援教室 被災者を含むより多くの人が、気軽にいつからでも参加できる高齢者の相互支援活動の場所として開催した。</p> <p>ア) すこやかサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：東日本大震災により被災した地域の住民 ◆実施回数：24回 ◆参加者：延べ691人 <p>④健康運動支援ネットワークの構築 東日本大震災を契機として設立された「健康運動支援情報ネットワーク仙台みやぎ (UNDA)」の事務局として研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：1回、参加者31人 				
(2) ふれあい広場でストレッチ	通年	シルバーセンター	自主事業	
			0	※3
<p>介護予防の普及啓発、運動実践を目的とした単発の運動教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：概ね60歳以上の方 ◆実施回数：2回 ◆参加者：延べ25人 				
(3) 被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	通年	復興公営住宅集会所等	受託事業	
			282,256	282,256
<p>東日本大震災により数回の転居を余儀なくされ、その都度新たなコミュニティ形成を必要とする被災高齢者を対象として、閉じこもりや生活不活発病を予防し、生活機能の維持・改善を図るとともに、新たな交流の場を提供する目的で運動教室を開催した。</p> <p>①被災者向け介護予防運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：52回（4区・7ヶ所） ◆参加者：延べ723人 ◆打合せ：16回 <p>②ツールの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内容等：各種リーフレットの配布 24部 				
(4) 介護予防体操、運動道具の普及・販売	通年	—	自主事業	
			239,700	※4
<p>①介護予防体操の普及 音楽に合わせて安全で気軽にできる体操「杜の都のおトク体操」の普及を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内容等：仙台市高齢者生きがい健康祭、はつらつ健康フェスティバルでの体操実施 CD販売 41枚 DVD貸出し 5件 リーフレット提供 9件（607部） <p>②運動道具の取次販売等 運動自主グループへ運動道具の取次販売を行い、介護予防の実践活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内容等：運動道具の取次 1回（12件） 機材・用具貸出 6件 リーフレット提供 31件（3,660部） 				

※1 「1(1)生活習慣病予防・改善講座」との共通予算

※2 「1(2)障害者健康づくり教室」との共通予算

※3 「1(3)ア 高齢者運動教室」との共通経費

※4 「(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

6 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			75,919,808	75,919,808
①日常管理のための業務委託 ビル管理・清掃等の常駐業務の管理を行った。 ②設備の保守点検等の業務委託 空調設備、エレベーター設備、トレーニング機器等の保守管理を行った。 ③施設設備 雨漏り対策の応急処置や電気、空調、消防設備等の修繕及び更衣室ロッカーの更新を行った。				

公3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供を行う事業	収益	51,179,784円
	費用	52,878,716円
	人件費	33,755,243円
	物件費	19,123,473円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 介護講座の開催

家庭で実際に介護をしている方や市民を対象に、介護に必要な知識や技術の習得を目的とした介護講座を開催した。

(1) 市民向け介護講座	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			9,748,757	11,401,022
<p>①介護1日講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学ぶ講座 ◆実施回数：6回 ◆参加者：265人 <p>②認知症を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：認知症について、医学的な知識や社会資源の活用、地域での支援を学ぶ講座 ◆実施回数：4回 ◆参加者：312人 <p>③ターミナルケアを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：看取りについての理解を深め、その支援等を学ぶ講座 ◆実施回数：2回 ◆参加者：216人 <p>④テーマ別介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：テーマ毎に介護についての考え方や介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：8回 ◆参加者：618人 <p>⑤土曜介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：平日の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：3回 ◆参加者：149人 <p>⑥地域介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：市民センターと共同で開催する、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：3回 ◆参加者：50人 <p>⑦介護ナイター講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：日中の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：3回 ◆参加者：124人 <p>⑧働く方の介護入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：働き盛りの方を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：3回 ◆参加者：123人 <p>⑨知って役立つ福祉用具講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座 ◆実施回数：4回 ◆参加者：58人 				

- ⑩親子向け知って役立つ福祉用具講座
 - ◆内 容：小学生と保護者を対象に、福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座
 - ◆実施回数：2回
 - ◆参加者：親子4組・14人
- ⑪学校向け介護体験講座
 - ◆内 容：高齢者、障害者、認知症の方への理解を深めたいと考えている小学校・中学校・高校に出張で行う講座（高齢者疑似体験、車いす体験、認知症の方との接し方）
 - ◆実施回数：8回（7校）
 - ◆参加者：667人
- ⑫福祉用具体験講座
 - ◆内 容：10人以上の希望する団体を対象に、福祉用具の選び方・使い方等を学ぶ講座
 - ◆実施団体：2団体
 - ◆参加者：48人
- ⑬「福祉用具の日」・「介護の日」記念行事
 - ◆内 容：10月1日の「福祉用具の日」・11月11日の「介護の日」を記念したセミナー・講演会の開催、福祉用具の特別展示
 - ◆実施回数：各1回
 - ◆参加者：806人（「福祉用具の日」延べ604人、「介護の日」202人）

2 介護職の人材養成

介護職を対象に、認知症高齢者をはじめとした要介護者の介護に必要な知識や技術の習得・向上、将来の介護職養成を目的とした研修を開催した。

(1) 認知症介護研修	通年	シルバーセンター	受託事業	
			5,403,826	5,403,826
<p>介護職員等を対象に、認知症高齢者を介護するために必要な知識や技術の習得・向上を目的とした研修を開催した。</p> <p>①認知症介護基礎研修 認知症高齢者の介護に必要な、基礎的な知識・技術を習得し、それを実践する考え方を養う人材を養成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：講義演習1日 ◆対 象：医師、看護師、准看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士の資格を持たない市内各種高齢者福祉施設等の認知症ケア業務従事者又は従事予定者 ◆実施回数：2回 ◆参加者：66人 <p>②認知症介護実践者研修 認知症高齢者の介護に必要な知識・技術を習得し、介護現場で実践能力を発揮できる人材を養成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：講義演習5日、職場実習4週間、中間報告1日、報告会1日 ◆対 象：実務経験2年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆実施回数：4回 ◆参加者：239人 <p>③認知症介護実践リーダー研修 介護現場の実践リーダーとして、チームケアを推進し、認知症介護の理念を介護現場で展開できる人材を養成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：講義演習7日、職場実習4週間、報告会1日 ◆対 象：実務経験5年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆実施回数：1回 ◆参加者：38人 				

<p>④認知症対応型サービス事業管理者研修 認知症の基本理念・基礎知識を習得した管理者として予定される者に、総括的に事務所を管理運営できる力を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：地域密着型サービス事業所の管理者または管理者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆実施回数：2回 ◆参加者：57人</p> <p>⑤小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 利用者及び事業の特性を踏まえた介護事業計画を作成するために必要な知識と技術を習得し、計画を作成できる力を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者または計画作成担当者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆実施回数：1回 ◆参加者：11人</p>			
(2) キャラバン・メイト養成研修	年1回	シルバーセンター	受託事業
			※ ※
<p>認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを養成した。</p> <p>◆内 容：認知症の症状・予防、認知症の人と接するときの心構え、認知症サポーター養成講座の運営方法等</p> <p>◆対 象：地域包括支援センター職員、認知症介護実践リーダー研修等を修了した者</p> <p>◆実施回数：1回 ◆参加者：57人</p>			
(3) 難病患者等ホームヘルパー養成研修	年1回	シルバーセンター	受託事業
			133,958 133,958
<p>難病患者等へのサービスの提供のために必要な知識や技術を習得し、より適切なホームヘルプサービスを提供できるホームヘルパーを養成した。</p> <p>◆内 容：難病の症状やケアに関する医学知識、医療・保険・福祉制度、本人の心理、家族の理解</p> <p>◆対 象：難病患者等のホームヘルプ事業に従事している介護職員または今後従事予定の介護職員</p> <p>◆実施回数：1回 ◆参加者：23人</p>			
(4) 介護職スキルアップ研修	年11回	シルバーセンター	自主事業
			2,180,000 2,184,667
<p>介護業務に必要な知識・技術の習得及び意識の高揚を図り、介護職としての資質向上を図るための研修を実施した。</p> <p>◆内 容：介護技術実習、介護保険制度の理解、認知症の理解と対応、ターミナルケア等</p> <p>◆対 象：市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆実施回数：11回 ◆参加者：828人</p>			
(5) 介護福祉士国家試験 事前実技試験講習会	年1回	シルバーセンター	自主事業
			0 0
<p>介護福祉士国家試験実技試験に必要な知識・技術を身につけ、介護福祉士の育成に資するための講習会を企画した。</p> <p>◆内 容：実技試験の模範実技、実習・解説等2日</p> <p>◆対 象：筆記試験を受験した方</p> <p>◆実施回数：0回 ◆参加者：0人</p> <p>※制度の改正により「実務者研修」又は「介護技術講習」の受講により資格取得が可能となり、実技試験の受講者が激減したことから、参加申込みが見込めないため、事業の実施を見送った。問い合わせ0件。</p>			

※「(1) 認知症介護研修」との共通予算

3 介護に関する相談、情報提供

高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、在宅介護や福祉用具、高齢者の保健福祉サービス等に関する相談、情報提供を行った。

(1) 介護に関する相談 情報提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
<p>①介護に関する相談 要介護者やその家族等を支援するために、福祉用具や介護に関する相談に対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆相談日：シルバーセンター休館日を除く毎日 ◆相談方法：電話、来所 ◆相談件数：2,279件（電話155件、来所2,124件） ◆内容別件数：5,673件（福祉用具4,301件、介護213件、住宅22件、制度409件、研修98件、就業18件、資格17件、その他595件） <p>②図書等の閲覧・貸出 介護、福祉用具、保健福祉サービス等に関する情報を提供するほか、図書・DVD・ビデオの閲覧・貸出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆閲覧件数：図書 454件・DVD 159件・ビデオ 26件 ◆貸出件数：図書 128件・DVD 23件・ビデオ 10本 ◆保有数：図書1,254冊・DVD 66本・ビデオ93本（平成30年3月31日現在） <p>③福祉用具の展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆常設展示：ベッド、床ずれ予防関連用品、排泄用品、生活自助具、車いす等488点 ◆特別展示：10月1日の「福祉用具の日」・11月11日の「介護の日」を記念した福祉用具の特別展示（介護食品等）のほか、高齢者生きがい健康祭、ふれあい広場（年4回）や生きがい・健康づくりイベントに福祉用具の展示コーナーを設置し、福祉用具の選び方、使い方などの体験を行った。 <p>◆利用者：6,383人 ※但し、ふれあい広場320人を含む。</p>				

※「1(1) 市民向け介護講座」との共通予算

4 地域展開・普及啓発

学校、企業、町内会等の団体からの依頼に応じた講師派遣、講座の企画・実施を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護に必要な知識・技術の普及啓発を行った。

(1) 認知症サポーター養成講座 事務局運営	随時	市内各所	受託事業	
			※	※
<p>認知症についての正しい知識普及、認知症の人や家族の応援、地域における見守り・理解者となる認知症サポーターの養成を目的に、講座開催を希望する学校、企業等からの依頼に応じて、養成研修を修了したキャンパ・メイトの派遣や教材手配を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：309回 ◆参加者：11,891人 				
(2) 職域等向け介護研修	随時	—	自主事業	
			0	0
<p>介護に必要な知識・技術の習得を目的に、職域等（企業、商店組織、介護サービス事業者等）からの希望に応じた研修を企画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：2回 ◆参加者：63人 				

※「2(1) 認知症介護研修」との共通予算

公4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査を行う事業	収益	359,750,305円
	費用	360,082,305円
	人件費	297,767,058円
	物件費	62,315,247円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

(1) 要介護認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			60,566,736	60,566,736

仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査と介護認定調査票の作成を行った。

①仙台市

ア) 介護保険法に基づく要介護（要支援）認定調査

◆受理件数：37,186件（対前年度 3,558件減）

◆実施件数：37,577件（対前年度 1,602件減）

イ) 生活保護法に基づく介護扶助決定のための訪問調査

◆受理件数：212件（対前年度 24件減）

◆実施件数：222件（対前年度 1件増）

②他市町村等

◆受理件数：512件（対前年度 116件増）

◆実施件数：484件（対前年度 115件増）

(2) 障害支援区分認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			1,748,511	1,748,511

仙台市及び他市町村から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査を行った。

①仙台市

◆受理件数：1,602件（対前年度 202件増）

◆実施件数：1,499件（対前年度 176件増）

②他市町村

◆受理件数：2件（対前年度 増減なし）

◆実施件数：2件（対前年度 増減なし）

【収益事業】

収 1 仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	69,259,694円
	費用	64,670,171円
	人件費	10,929,852円
	物件費	53,740,319円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 仙台市シルバーセンターの管理運営

(1) ホール・研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			57,554,171	53,740,319

①ホール・研修室等の貸出

◆貸出日数：交流ホール 258 日、研修室・和室・会議室 341 日
※大規模修繕工事のため交流ホール 83 日間休館

◆対 象：福祉団体及び福祉目的以外の催事

◆利用状況：

施設名	利用件数 (対前年度)	利用人数 (対前年度)
交流ホール	94 件 (20 件減)	16,999 人 (1,731 人減)
第 1 研修室	128 件 (74 件増)	4,807 人 (273 人減)
第 2 研修室	67 件 (2 件減)	3,792 人 (356 人減)
第 3 研修室	425 件 (3 件増)	3,750 人 (33 人減)
和 室	351 件 (38 件減)	3,165 人 (150 人減)
会 議 室	331 件 (37 件減)	3,007 人 (264 人減)
合 計	1,396 件 (20 件減)	35,520 人 (2,807 人減)

②温水プール・浴室・サウナの利用提供

◆貸出日数：330日

◆対 象：60歳以上の高齢者及び障害者以外の方

◆利 用 者：3,872 人 (対前年度 176 人減)

③センターの維持管理

◆内 容：市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理した。

収 2	生活習慣病予防・改善講座及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	25,697,506円
		費用	25,676,480円
		人件費	13,894,768円
		物件費	11,781,712円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 生活習慣病の予防・改善に関する講座

(1) 健康づくり推進事業	通年	健康増進センター	自主事業	
			307,000	285,974
<p>健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者を対象に、身体状況の把握や効果測定等を目的として、血液・尿検査を行った。また、身体活動量の目安把握のため、歩数計を配付した。</p> <p>◆利用者：血液・尿検査 42人 尿検査 78人 歩数計配付 41人</p>				
(2) 健康づくり講座	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			151,400	151,400
<p>①ヘルスアップセミナー 働き盛りの世代のうちから肥満や運動不足、食事バランスの偏り、喫煙等の生活習慣の改善を促し、将来の疾病を予防することを目的とした講座を開催した。</p> <p>ア)「高血圧予防について」 ◆実施日：平成29年8月26日 ◆参加者：26人</p> <p>イ)「糖尿病予防について」 ◆実施日：平成29年9月30日 ◆参加者：23人</p> <p>ウ) 団体向けセミナー ◆実施日：平成29年10月25日・11月15日 ◆参加者：41人</p> <p>②メタボリックシンドローム予防教室 働き盛りの世代を中心に、生活習慣の見直しや改善への取り組みを促し、メタボリックシンドローム予備軍の減少と適正体重者の増加を目指すとともに、早い段階からの生活改善により、将来の生活習慣病予防を図るための講座を実施した。また、減量及び内臓脂肪減少によるメタボリックシンドローム予防・改善のための講座を実施した。</p> <p>ア) 新入社員の生活習慣病予防講座 ◆実施日：平成29年4月11日、10月2日 ◆参加者：延べ54人</p> <p>イ) 減量チャレンジ講座 ◆実施日：平成30年2月3日、2月17日 ◆参加者：延べ35人</p>				

2 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) 施設の利用提供 センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			11,344,338	11,344,338
<p>①施設の利用提供 公益目的事業未使用時の施設を健康づくりの場として提供し、市民の健康づくりを支援した。</p> <p>ア) 健康情報の提供 イ) 施設利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：16歳以上で運動可能な市民 ◆実施回数：97回 ◆利 用 者：6,932人（障害者1,579人、高齢者3,871人、一般1,482人） <p>②センターの維持管理 公益目的事業以外に係るセンターの維持管理を行った。</p>				